

県下の交通事故 (2月28日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
53年	460件	14人	661人
52年	566件	9人	765人
比較	-18.7%	+55.6%	-13.6%



◇ 第 39 号 ◇

発行所

甲府市丸の内一丁目6-1  
財団法人山梨県交通安全協会  
TEL 甲府 (0552) 37-7827



老人に愛のひと声を……甲府駅前

# 県民の力でなくせ死亡事故

## 4月6日～15日 春の全国交通安全運動

### 五悪追放へ総ぐるみ

春の全国交通安全運動は四月六日から十五日までの十日間、全国一斉に行われます。本県がきめた運動の重点は、①歩行者・自転車利用者、とくに子どもと老人の交通事故防止、②夜間における交通事故防止、とくに飲酒運転の絶滅、③ゆとり運転の励行、とくに交差点およびその付近の交通事故防止、④シートベルト・ヘルメット着用推進、とくに死亡事故原因の大部分を占める交通五悪の追放に、県民総ぐるみの運動を展開することになっていきます。

### 交通弱者の保護対策と夜間の交通事故防止を

運動の重点項目と推進事項は次のとおりです。  
①歩行者、自転車利用者、とくに子どもと老人の交通事故防止  
②スクールゾーン、生活ゾーンの交通規制を強化する  
③路側帯、ガードレール、道路照明、カーブミラー、歩道等の点検整備を促進し歩行者・自転車利用者のため安全なスペースを確保する  
④生活ゾーンの拡大を図る



坊さんも出動して交通安全のお礼配り……身延山で

### 夜間における交通事故防止、とくに飲酒運転の絶滅

④自転車利用の多い地域では、自転車の安全に必要な交通規制、自転車道の整備、交差点における自転車通行の指導標示等の安全対策を推進する。  
⑤飲酒運転の多発地点を点検し、夜間照明、カーブの矢印標示、ガードレール等、安全対策を推進する。

### 夜間における交通事故防止、とくに飲酒運転の絶滅

①夜間事故の多発地点を点検し、夜間照明、カーブの矢印標示、ガードレール等、安全対策を推進する。

### 交通安全教育の推進

①歩行者、とくに新入学生、幼児および老人の交通安全教育の徹底を図る  
②自転車の安全な乗り方を指導する  
③運転者およびその雇主に對し、運転マナーの向上について指導の徹底を図る

### 黄色い腕章を新入学児童に贈る

県安協では、新入学期にあたり、子どもを交通事故から守る運動の一環として、県下の新入学児童全員に對し、交通安全の黄色い腕章を贈ることになりました。配分方法は、三月末日までに、各警察署を通じて各小学校に、新入学の児童数をお届けいたします。なお、甲府市および富士吉田市については、富士銀行において配付することになっております。合計一万本です。新入学児童たちが、通学にこの腕章をつけることにより、みんなが注意し合ひ、まだ交通になれない小さい子どもたちが、交通事故にあわないようにしたいものです。

### 大月安協会長に藤野要氏を選任

大月安協では、小林徳太郎前会長の死去に伴い、二月七日後任会長に副会長の藤野要氏を選任しました。藤野氏は、現任都留食糧協同組合理事長で、永年食糧、専売業務に功績があり昭和五十一年に県政功績者表彰と黄綬褒章を受賞してまいりました。(大月市大月町花咲、六十八歳)

### 三つのEの推進

これからの交通安全対策

山梨県交通安全協会会長 中村太郎

昨年県内では、昇仙峡のバス転落事故など大きな犠牲を出す事故もありませんが、交通事故連続六年減少という大きな成果を収めることができました。また、この同様に堪えませんが、皆様方のためまことに努力の賜として心から敬意と感謝をささげる次第であります。さて、交通事故防止対策の三原則として、三つのEというものが言われております。その一つのEは、エンジニアリングです。交通工学の面から、道路、安全施設、車両等の改良とか増設などをすることによって、第一、第二次にわたる五カ年計画で膨大な予算をこれに投入し、大きな成果をあげてまいりました。

二つ目のEは、エンフォースメントで、法律による取り締まり、規制などという面からあります。三つ目のEは、エデュケーション、つまり教育ということが大きく浮かびあがってまいります。広い意味では交通安全教育を推進する。

これは、ことばをかえて言えば、金とか物とかいうことになりません。しかし、最近では投資効果の減がうんぬんされておられます。二〇〇万人にも達すると言われ、また、取り締まりの件数にも自ら限界があると思われ、そこで三つ目のEとしてエデュケーション、つまり教育ということが大きく浮かびあがってまいります。広い意味では交通安全教育を推進する。

にはいったということが言えます。年末に発表された警察庁の道交法改正案をみますと、一物的施設の整備に重点を置いた交通行政は、一応限界にきたと判断、今後は「ドライバー対策」が

最重要課題であるとの結論から出されたものであることがうかがわれます。これからの交通安全対策は、きめ細かい交通規制と運転者対策、とくに指導、教育ということが重点として推進されることになりましょう。

全国統計では、死者連続七年減少で、すでに一万人を大きく割り、その成果は世界各國が注目するところですが、しかし、お互いに交通安全の安全を肌で感ずる状態からは、まだほど遠いものがあります。このことも、県民一人ひとりが真剣に交通安全を心がけ、ドライバーの安全教育を推進し、本年もまた、連続交通事故減少の年にすることを誓い合ひたいと思っております。



にはいったということが言えます。年末に発表された警察庁の道交法改正案をみますと、一物的施設の整備に重点を置いた交通行政は、一応限界にきたと判断、今後は「ドライバー対策」が

最重要課題であるとの結論から出されたものであることがうかがわれます。これからの交通安全対策は、きめ細かい交通規制と運転者対策、とくに指導、教育ということが重点として推進されることになりましょう。



### フクロウの目と人間の目

死亡事故を昼夜の別に分けて見ると、夜間の方が随分多く、昨年一年間の死者百人のうち、四十一人が夜間事故で死んでいる。見えにくい夜間の方が、諸条件の悪いことはわかるが、それにも関わらず、死亡事故の出過ぎが圧倒的に多く、次いで酒酔い運転と、悪条件の多い夜間に、無謀運転がさらに重なりあって悪い結果を招いているといふことだろうか。

県警の「ニューナイト作戦」も、安協の「ムーンライト運動」もここから展開されている。なぜ夜間は死亡事故が多いのか、もう一つ考えてみよう。

フクロウは、大眼珠のおかげで人間の百分の一の光りを見ることができるといふ。これではわずかな星のあかりをたよりに、木々の茂った森を自由に、木々の茂った小動物を見つけて捕えて食べる。

コウモリは、超音波を放射し、その反射音をたよりにヤミの世界を自由にとび回り、空中に張ってある細い針金にも衝突しない。

ところが人間が自動車を夜間走らせる場合、百メートル先を照らす明るい灯火をつけてながら、大きい失敗をやっている。人間は、これらの動物から見ると、比べものにならないほど、物を見る能力が低い。

それなのに、このことを全く自覚せずに、スピードを走らせる。なかには、酒を飲んで視覚や神経や動作までがマヒしているのに、とんでもない無謀運転をやっている者がいる。

夜間の死亡事故が多いのは、人間の能力を超えたスピードであり、自分自身のコントロールの問題である。ドライバーの一人ひとりが、このことをよく理解し、車を運転するのでなければ、夜間の死亡事故は減らないのではあるまいか。



### 第18回交通安全国民運動中央大会

## 事故絶滅を誓い合おう

### 高村副会長に緑十字金章 鯉沢安協を全国表彰



常陸宮殿下ご臨席の本会議……日比谷公会堂で

全日本交通安全協会主催による第18回交通安全国民運動中央大会は、一月十八日、十九日の両日東京で開催されました。第一日は、「地域、職業者、」の四部会に分かれて、日本都市センター、麹町会館で討議が行われました。第二日は、日比谷公会堂において本会議が開かれ出席者は二千人を超える盛況でした。本会議には、常陸宮、同妃殿下がご臨席になり、おことばを賜ったほか、内閣総理大臣代理安倍官房

### 交通安全功労者に輝く人

#### 清水 嘉幸氏

交通安全功労者として、警察庁長官、全日交会長の表彰状と「緑十字金章」を受けた清水さんは「日比谷公会堂での受賞の感激は生涯忘れません。一世一代の名誉です。」とよろこびを語っていました。



高村 捷治氏  
金章は安協表彰では最高のもので、本県では金丸康三、中村太郎、小林徳太郎の各氏に次いで四人目の受賞です。  
高村氏は現在安協副会長、富士吉田安協会長を務め、永年にわたって交通安全運動に活動して来た功績が認められたものです。日比谷公会堂の表彰式には夫人の志んさんも出席し、永野全日交会長から内助の功をたたえた感謝状を贈られました。(南都留郡山中湖村、社会会長、七十二歳)

#### 加藤 和男氏

交通安全功労者として「緑十字金章」を受賞した加藤和男氏は、県安協理事、上野原安協会長で県議会議員です。



清水氏は、現在安協理事、小笠原安協会長で、安協役員になってから通算二十五年間にわたり、交通安全活動に献身的な努力を続けてきました。交通事故で愛息を失ない、交通安全の悲劇を身をもって体験した父親でもあり、交通安全に注ぐ情熱と実践力は高く評価されています。

### 宣言

多年にわたる国をあげての努力の結果、交通事故は、昭和四十六年以降減少を遂げた。死者は九千人以下にとどまった。しかし、依然として、地域間に格差があり、また、子ども、老人、歩行者、自転車利用者の事故が多発するなど、今後ひきつづき減少傾向を維持するために、とりわけ、国民の交通安全意識を一層高揚し、人と車を調和させた新しい道路交通秩序の確立を図る必要がある。ここに、われわれは、第18回交通安全国民運動中央大会を開催するに当たり、決意を新たに、次の事項の実践を誓う。

- 一、幼児と老人の保護、とくに、幼児については、母親を通して保護と教育を推進する。
- 二、小、中学生を中心に、自転車の安全教育を推進する。
- 三、青少年に、二輪車の安全教育を推進する。
- 四、運転者としてこれを雇用する企業等に對して、安全運転の励行を推進する。
- 五、シートベルト、ヘルメット着用の励行を推進する。
- 六、夜間の交通事故防止対策を推進する。

昭和五十三年一月十九日  
第18回交通安全国民運動中央大会

長官、衆・参両院副議長、国家公安委員長の祝辞等があり、また前日各部会で討議された事項について、各部会の議長から報告が行われ、これに基づいて、大会の決議、宣言が行われました。さらに交通安全功労者、優良運転者、交通安全優良団体等の表彰が行われました。

たが、本県関係の被表彰者はつぎのとおりでした。

- 交通安全功労者 緑十字金章 加藤和男氏
- 交通安全功労者 緑十字金章 高村捷治氏
- 優良交通安全功労者 小笠原安協会長 清水嘉幸氏
- 交通安全優良団体 東電山梨支社甲府営業所
- 交通安全優良学校 増穂町立増穂中学校

富士急山梨ハイヤー 運転者 相川 秀治  
山梨交通株式会社 運転者 雨宮藤四郎  
優良交通安全功労者 鯉沢安協副会長 高村捷治  
交通安全優良団体 小笠原安協会長 清水嘉幸氏  
交通安全優良学校 増穂町立増穂中学校

### 安全ステッカー

シートベルト着用運動を進めるために、県警、県安協および県交対協では「シートベルト」というキャンペーン・ステッカーを作り、第一回分二万枚を県下に配布しました。

### 表彰第一号は小尾さん

### シートベルト着用励行者

県警は、死亡事故防止対策としてシートベルトの着用をドライバーに呼びかけ、昨十一月から開始した「シートベルト着用励行者の表彰」も着実に進み、「シートベルト着用カード」を十枚集めた運転者が初めて表彰されました。

この表彰第一号は、北巨摩郡白州町白州、建築業の小尾良男さん(四十九歳)で、このほど長坂署で伊東勝男署長から「運転中率先してシートベルトの着用を励行し、交通安全に寄与した」という賞状を受けました。小尾さんは長坂安協白州支部長でもあり、運転の際は必ずシートベルトを着用しています。

この表彰制度は「シートベルトの着用を励行した運転者を賞揚し、着用率を向上させて交通事故の死傷者を軽減させる」ことを目的としたもので、警察官がシートベルトの着用を励行した運転者を現認したとき「カード」を交付し、十枚たれば所轄署長が表彰し、違反等の免責も考慮しようなお、これまで毎月十日

### 26万台に貼付する

### 八島本部長の発案で

このステッカーの作成は八島幸彦県警本部長自らの発案によるもので、直徑約一〇センチの円形の中央に青い服を着た女性ドライバーが、赤いシートベルトをつけている絵を入れ、周囲に「シートベルト着用」の文字が記されています。このステッカーは、二月から三月三十一日、二月、三十日)の三回に、やい、街頭指導を一層強化して行きます。



シートベルト着用励行で表彰される小尾良男さん……長坂署で

### 交通安全はまず母親から

交通安全全母の会連合会(浅川くま乃会長)では、二月二十四日甲府署大会議室で交通安全全母親活動指導者講習会を開催しました。この講習会は「交通安全は家庭から」をテーマに行われたもので、県下の各地区の交通安全母の会から約二百五十名が参加し、県警本部や県安協から講師を招き「交通安全と母親の役割」「老人と子どもの事故防止対策」「自転車の安全教育の推進」などについて熱心な討議を行いました。このなかで「交通事故で母親の注意不足による過失論」も論議され、注目をあびました。また「飲酒運転」と書いてあります。これを車のリヤウインドにつけて自覚を促すとともに、さらに後続車のドライバーにも訴えようというもので、その効果が期待されます。

### 哀悼

小林 徳太郎殿  
県安協理事、大月安協会長小林徳太郎殿は、一月二十三日急性心不全のため死去されました。つしんでお悔み申しあげます。享年六十七歳です。

### 新規購入 映画の紹介

山梨県交通安全協会では、新しく次の映画を購入しました。無料でお貸しいたします。ご利用ください。

- 一、野球と交通安全 16ミリ、カラー13分
- 二、ピコはいきてるよ 16ミリ、カラー、15分
- 三、幼児向。

この映画は、とび出しの恐ろしさや、交通標識の見かた、交差点やふみきりなどは、どのような注意をしたらよいかなどを、幼児にうたえようとしています。

葬儀は一月二十五日都留食糧で行われ、各界から故人の交通安全活動に対する功績をたたえた弔辞が捧げられ、交通安全関係者多数が会葬しました。

小林氏は、十八年大月安協会長の要職にあり、交通安全運動の推進と、安協の発展に多大の功績をあげ、すでに交通安全功労者「緑十字金章」藍綬褒章、県政功績者表彰を受賞しています。

母親、指導員向。  
交通安全功労者の地域における広報活動、交通安全教室や街頭での指導風景を描きながら、指導員としての基本的な心構え、交通状況の把握の仕方、街頭での指導誘導要領などを詳しく解説し、指導員の実務活動の指針となるものです。



### 世に ちやんま



## 昨年の交通事故 6年連続して減少

## 人口比では「ワースト4」 依然として高い危険率

昨年一年間の県内の交通事故は、件数、死者、傷者とも減少し、昭和四十七年以来六年連続減少となりました。とくに死者は、ピーク時の昭和四十四年の二百二十七名に比べ、百二十七名減の百名となり、(減少率五十六%)交通事故死半減の悲願を達成することができました。

昭和四十四年当時の交通事情と比較すると、自動車保有台数は約二倍の二十七万台に達し、運転免許取得人口も約一・五倍の三十三万人と、飛躍的に激増する中で死者を半数以下に抑制し得たことは、大きな成果といえます。

しかし人口十万人当たりの死者数は、全国平均の七・九人を大きく上回る二二・七人と高く、茨城、滋賀、高知に次いでワースト四位となり、さらに、自動車一万台当たりの死者数も全国平均を上回りワースト七位という状況で、依然として本県の交通危険度の高さを示しています。

交通事故の発生状況は、別表のとおりです。

全国・本県の交通事故発生状況

対比	52年		51年		増減	率%	人口10万人当り数	
	発生件数	死者数	発生件数	死者数			52年	51年
全国	460,482	8,945	471,041	9,734	-10,559	-2.2	407.2	420.0
山梨	4,024	100	4,192	116	-168	-4.0	512.0	528.0
発生								
死者		8.7		7.9	789	-8.1	12.7	14.6
傷者		523.4		547.5	22,075	-3.6	692.1	722.7
発生	591,882		613,957		-22,075			
山梨	5,440		5,736		-296			

### 事故の特徴と傾向

昨年の交通事故の特徴的傾向として、次のことが挙げられます。

○事故とくに死者は大幅に減少したが、他の都道府県に比較すると、まだまだ本県の交通危険度は高い。

○重大事故が四件発生した。

八月十一日、中央道岩殿トンネル内で観光バスに後続バスが追突し、五十八人の負傷者を出した。

十月二十五日、白州町内の停留所に停止中のバスに

過去6年間の交通事故年別推移表

年別	人身事故			損物
	発生件数	死者	傷者	
昭和47年	6,045	186	8,568	5,104
48年	5,443	164	7,601	4,927
49年	4,569	140	6,350	4,398
50年	4,306	133	5,928	4,673
51年	4,192	116	5,736	4,550
52年	4,024	100	5,440	4,745

九月十五日、中央道岩殿トンネル内で観光バスに後続バスが追突し、五十八人の負傷者を出した。

十月二十五日、白州町内の停留所に停止中のバスに

十一月十二日、都留市内で前車を追い越した乗用車が電柱に激突し、同乗者三名全員が死亡した。

○死亡事故は下半期に急増し、上半期の二倍の人が死亡した。

○老人の事故が増加し、死者も大幅に増えた。反面子どもについては件数、死者とも減少した。

○依然として無謀運転による事故が多く、原因別で

は交通五悪の飲酒、速度、追い越し、歩行者保護、優先通行の違反が上位を占めている。

○交差点の事故率が高く、全事故の三五%に当たり、とくに市町村道に顕著にみられる。

り親しみやすいように、巻物風になっており、内容も「みなさんは長い間の歩行記録保持者です。歩くことには若い人よりも、はるかに馴れ強くなれた実績があります。世の中は日々変化しスピード化されています。今の時代にいつまでも長生きをする秘訣は交通のきまりを守ることです。この交通のきまりを正しく守ることによって、あなた自身が守られることになり、また、この書を読み返して読んでいっても長生きをしてくださいます。」という書き出しには、歩行者、横断、夜間の注意事項を個条書きにし、とくに信号機のある交差点の横断では、「短気な信号が「待てるものか」と駆け出すのを、徳川家康が「短気は損気、かむるまで待とう赤信号」と戒めるマンガなども入って興味あるものとなっています。

県警では今年には死亡事故七割減を目標とし、死者を九十三人以内に抑える計画をたてています。

警察庁においては、昭和五十一年から交通事故による死者を毎年五割減少させ、昭和五十五年には、全国の年間死者数の最高であった昭和四十五年の半数以下に抑える目標をたてています。

本県においては、一足早くすでに昨年死者半減の目標を達成しましたが、県人口百万人以下の同規模県である島根、鳥取、福井、徳島、香川、佐賀の各県に比較すると十人以上も多いので、毎年七割ずつ減少させ、五

年後の昭和五十七年には十万人当たりの死者数をこれらの県の平均に近づけようとするものです。

このため「県民の安全確保」を旗印に「死亡事故抑止新五カ年計画」をたて、総合的な諸対策を推進していくことになっています。

今年7%減93人に  
抑止目標新五カ年計画

市民と警察の集い  
4月23日舞鶴公園で

県警では、警察活動の指針を「県民の安全を守り信頼される警察」とし、県民とともにある警察の実現をめざしてあります。

このため県民との触れあいの場を広く県民の皆様の意見を、ご要望を拝聴し、これを警察運営に取り入れることといたしました。

これは、警察の実態を広く市民の皆様に紹介し、警察に対するご理解と協力をお願いするとともに、防

犯、交通安全等につき、より一層深い関心を持っていただくのが目的です。

本県では、はじめてのところでありますが、是非皆様方が有意義なものとなりますようお願い申し上げます。

なお、甲府のほか、順次県下で実施する予定です。甲府では次の日程で開催いたしますので皆様おそろいでお出かけください。

四月二十三日(日)  
四月三十日(日)  
(雨天の場合は)

延命の巻  
老人保護の活動開始

ホームヘルパー制度で老人保護の活動開始

南甲府署と南甲府交通安全協会では、老人の交通安全を防止するための「ホームヘルパー制度」を正式に発足させました。

これは、交通安全協会や交通安全母の会の人たち十九七人をヘルパーに見たときに手をひいて誘導したり、老人宅を訪問して同居が考案した「交通安全延命の巻」や反射材を贈り、安全な歩行などを説明するもので、全国でも珍しい試みとして、その効果が期待されています。

この「交通安全延命の巻」は、懐古趣味のお年寄りが親しみやすいように、巻物風になっており、内容も「みなさんは長い間の歩行記録保持者です。歩くことには若い人よりも、はるかに馴れ強くなれた実績があります。世の中は日々変化しスピード化されています。今の時代にいつまでも長生きをする秘訣は交通のきまりを守ることです。この交通のきまりを正しく守ることによって、あなた自身が守られることになり、また、この書を読み返して読んでいっても長生きをしてくださいます。」という書き出しには、歩行者、横断、夜間の注意事項を個条書きにし、とくに信号機のある交差点の横断では、「短気な信号が「待てるものか」と駆け出すのを、徳川家康が「短気は損気、かむるまで待とう赤信号」と戒めるマンガなども入って興味あるものとなっています。

安全運転学校  
都留分校の開校

このたび安全運転学校都留分校が完成し、運転免許証の更新及び講習は、安全運転学校(八田村)と都留分校の二カ所で行います。

都留分校  
一、開校  
昭和五十三年四月一日  
二、場所  
都留市下谷 都留警察署西隣(駐車場完備)  
三、更新及び講習を受ける方  
郡内地区に居住する運転者全員。ただし原付免許、六〇才以上、妊娠中の方は、住所を管轄する警察署で受け付けてください。なお都留警察署管内の方は、都留分校で受け付けます。

四、受付及び講習の日時  
平日 午前八時三〇分  
から午前九時三〇分  
午後一時から午後二時

五、携行品  
ア 免許証  
イ 写真一枚(県外からの転入者二枚)  
ウ 手数料一、三〇〇円  
エ タイプ代三〇〇円  
(希望される方)  
オ 本籍、氏名の変った方は住民票一通、写真二枚

日曜日の更新  
講習は廃止  
いままで行っていましたが安全運転学校(八田村)の日曜日の更新および講習は、四月一日から廃止いたします。

山梨県公安委員会





# にぶるスピード感 ハンドルは9時15分型に

## 高速道路の走り方



コースを走ってみっちり実技講習

中央自動車道西宮線大月一勝沼間(一九・七キロ)が完成し、昨年十二月二十日から供用開始になりました。この「大動脈」の開通によって甲府盆地は東京都心と直結し、県内も高速自動車道時代にはいりました。しかし、この新供用開始区間には、道路トンネルとしてはわが国で二番目に長い笹子トンネル(四・七キロ)があり、また太田ジャンクションでの富士吉田線との合流など高速走行に十分注意しなければならぬところがあります。

そこで今回から二回にわたり、高速道路の安全運転をとりあげてみました。

〔高速道路にはいる前のチェックポイント〕

高速道路では、ちょっとした故障でも事故につながります。車の点検・整備は必ず行いましょう。ブレーキ、ハンドルはもちろん、とくにタイヤなどの足まわりの点検を入念にしたいものです。また、空気が圧は、一般道路よりも二〇%程度高目になります。高速道路で意外と多いのが、燃料切れ、オイル切れです。高速道路に入る前に忘れずにガソリンとオイルの点検をしましょう。

座席ベルトは、運転者自身もこれを使用するはもちろん、同乗者にも使用させなければなりません。

〔スピード感〕

時速百キロという一秒で二十八メートル突っ走ることになり、高速道路に出る初めはほとんどの人が百キロの速度を味わうはず。ふだんはそんなスピードで走っていませんから、高速道路ではすぐにスピード感が鈍ってしまいがちです。景色の流れなどから、カンが百キロになれていないためです。しかし、そんな人でもいったん慣れると大変です。何しろスピードに挑戦するのは気持ちのいいものです。それを求めているともいえるからです。

〔ハンドルの握り方〕

一般の道路で走っているときは「十時十分型」というのが標準です。しかし、高速道路ではこの握り方でワキの下が離れすぎま



高速道路では一瞬の油断が重大事故になる。

す。十時十分型はハンドルを切りやすい反面、フラツキます。高速道路は、自然にハンドルが曲がるように設計されているので、よほどのことがない限り、ハンドルを大きく切る事はありません。その点九時十五分型は腕をまわしにくいので十時十分型よりハンドルの切り方は少なく、それだけというわけです。

〔車間距離〕

新聞に出てくる高速道路の事故の原因は、ほとんどが追突です。車間距離を十分にとっていない、大惨事も妨げるといえます。車の間距離の標準は、時間速一〇〇キロでは……一〇メートル  
時速八〇キロでは……八メートル  
時速七〇キロでは……七メートル  
つまり、二キロで一メートル

と覚えておきましょう。

〔追い越し〕

追い越しをするときは、前の車ばかり気にしてはいけません。まずルームミラーで後続車の動きに注意します。それから右側のフラッシュを点滅させて追い越しの意思表示をします。そのまま三秒は走り、車間距離を五メートルく

らいつめ徐々に追い越し車線にはいります。追い越し車線を左に切りかえます。同時にルームミラーに追い越した車がスッポリ入ります。徐々に走行車線に戻ります。追い越し車線に入るときは、蛇(だ)行せずに堂々としかも落ちついてやりましょう。



武田神社で交通安全祈願祭

「ことしこそ、交通事故による死者を二ケタ台に」と、県安協では1月10日武田神社で交通安全祈願祭を行いました。祈願には、中村県安協会長、八島県警本部長をはじめ、県安協役員、県警交通部幹部、白バイ隊員ら50人が参加し、本年の交通事故死者数抑止目標の達成をめざして決意を誓いました。

五〇cc以下のバイクは、免許取得が楽で取扱いが簡単という手軽さがうけ、とくに女性が自転車代わり利用するようになってバイクブームは高まる一方です。試験方法も、筆記テストに合格すれば免許証が手に入るというので、警察署で行う試験日には受験者がワンサと押しかけています。

昨年一カ年間の原付免許取得者は一万一千八百七十七人で、一昨年より約二千五百人も増えています。

これに対してバイクの事故も増え、昨年一カ年間に八百五十四件発生し、一昨年のより四十四件も増え、とくに女性の事故が目立っています。

県警では対応策として昨年四月から原付免許試験の当日、簡単な実技講習を実施してきました。しかし、現実には警察署の庭等を利用して一時間ぐらいバイクの取扱方法を説明する程度で終わり、コース用の土

地がないため基本走行をやりにくくてもやれない実情でその効果も疑問視されています。

県警は、こうした現状を反省した結果、従来の講習要領を改正し、①免許証交付日を、筆記試験に合格した日から三週目の日曜日とする。②交付の日には各署管内の自動車教習所のコースで、二輪車安全運転推進委員会の指導員による安全走行の講習を実施する。③受講者には講習証明書が発行し、これを提示させて

原付免許試験合格者技能講習実施要領

〔目的〕 この要領は、原付自走車の交通事故を防止するため、原付試験の合格者に対し、技能講習を実施するための必要な事項を定めた。

〔講習実施日〕 各警察署で行う原付試験日(毎月五日および二十日)から第三週目に相当する日の次の日曜日とする。

〔講習実施場所〕 その署管内の指定自動車教習所のコースを借用して実施する。なお、教習所の借用費、講習中の事故保険、講習用バイクの確保、講師の謝金等の費用は、受講者から実費として千円を受領することになります。

〔講習の方法〕 講習は別に定める「カリキュラム」によって実施し、使用車両は県二輪車安全運転普及協議会において提供したものを使用する。受講者全員にコースを走行させ、必ずヘルメットを着用させる。下駄、サンダル、草履はきの乗車は禁止する。

〔講習証明書〕 受講者には講習証明書を交付する。

〔免許証の交付〕 免許証は講習修了後交付する。なお、教習所の借用費、講習中の事故保険、講習用バイクの確保、講師の謝金等の費用は、受講者から実費として千円を受領することになります。

県下一の  
**広いコースで 早い上達を!**

伝統ある当校で  
1日も早く免許証を あなたの手に

財団法人  
山梨県交通安全協会経営

**公認 山梨自動車学校**

八田村野牛島1828 山梨県運転免許センター内  
TEL 05528-5-0752